

15、食餌基準に関する研究

弘前大学医学部

岩 重 一	木 村 恒
鵜 沢 美智子	田 村 盈之輔
新 山 喜 昭	新 居 さつき
原 正 俊	堀 サチ子
三吉野 産 治	

進行性筋ジストロフィー症の給食として、各施設では概ね一般病人食を与えている。これでは残食が多く不経済的である上に、適切な栄養補給も出来ない。

これ等の点を解決するには、本症患者の栄養所要量を算定し、これに基づいて食餌基準を作成することが先決であると考える。

かゝる目的でPMD患者食餌基準共同研究委員を選出し、3回の委員会を持ち、本研究班の10年の栄養学的研究業績を集大成し、一部栄養調査、基礎栄養学的研究を補足して、それらを基に食餌基準書を作成するため下記のように準備を進めた。

食餌基準共同研究委員

岩重一 (国立療養所刀根山病院、栄養士)
鵜沢美智子 (国立療養所下志津病院、栄養士)
木村恒 (弘前大学医学部、講師)
田村盈之輔 (国立栄養研究所、部長)
新山喜昭 (徳島大学医学部、教授)
新居さつき (国立徳島療養所、栄養士)
原正俊 (厚生省医務局、栄養専門官)
堀サチ子 (国立療養所西別府病院、栄養士)
三吉野産治 (国立療養所西別府病院、医長)

以上アイウエオ順

分担執筆の内容目次及び担当者名

- I 栄養の基礎知識 (田村盈之輔)
- II 食餌の留意点 (木村 恒)
- III 栄養所要量 (新山 喜昭、新居さつき)
- IV 食品構成 (新山 喜昭、新居さつき)
- V 患者食 (三吉野産治、堀 サチ子)

- VI 食事例 (岩重一、鶴沢美智子)
VII 栄養指導 (三吉野産治、堀サチ子)
VIII 栄養管理 (原正俊、岩重一)

食餌基準書編集委員

木村恒、田村盈之輔、新山喜昭

尚、食餌基準書は昭和53年度に発刊の予定である。

↓
検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります
↓

進行性筋ジストロフィー症の給食として、各施設では概ね一般病人食を与えている。これでは残食が多く不経済的である上に、適切な栄養補給も出来ない。

これ等の点を解決するには、本症患者の栄養所要量を算定し、これに基づいて食餌基準を作成することが先決であると考ええる。

かゝる目的でPMD患者食餌基準共同研究委員を選出し、3回の委員会を持ち、本研究班の10年の栄養学的研究業績を集大成し、一部栄養調査、基礎栄養学的研究を補足して、それらを基に食餌基準書を作成するため下記のように準備を進めた。